

BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン&サン

Hans J. Wegner 生誕110周年

An Ode to a Visionary -先見性に捧ぐスペシャルコンテンツ-



1908年創業のデンマーク王室御用達家具メーカー CARL HANSEN & SØN（カール・ハンセン & サン）は、「椅子の巨匠」として知られ、そのキャリアにおいて500脚もの椅子を製作した、デザイナー ハンス J. ウェグナーの生誕110周年を記念し、ウェブサイトやSNSを通じて、ウェグナーの先見性に捧げるスペシャルコンテンツ ‘An Ode to a Visionary’ を展開します。

ウェグナーは、ミッドセンチュリーにおける重要なデザイナーのひとりであり、機能性、フォルム、クラフトマンシップを融合させた名作家具で広く知られ世代を超えて愛されています。

スペシャルコンテンツでは、ウェグナーのアイコンックなデザインについて、また、Home Storyとしてウェグナーと親和性の高い方が語る ‘A tribute to Hans J. Wegner’ インタビュー動画などを展開します。

‘An Ode to a Visionary’ は、下記ウェブリンクよりご覧ください。

<https://www.carlhansen.com/ja-jp/jaip/designers/hans-j-wegner/wegner-110years>



A tribute to Hans J. Wegner 登壇者

織田憲嗣 NORITSUGU ODA / 椅子研究家 Chair Researcher

織田憲嗣氏が初めて椅子に座ったのは、小学校の教室でした。大人になってから、ル・コルビュジエの「LC4」シェーズラウンジと出会い、これがコレクション1脚目となります。50余年に渡り収集・研究をしてきた1350脚を数える椅子は、世界でも類を見ない極めて貴重なコレクションといえます。1994年コレクションとともに北海道へ移住し、北海道東海大学芸術工学部（当時）教授に就任。織田ゼミを担当し、2015年に最終講義を経て現職。「デンマーク180脚の椅子展」や「椅子とめぐる20世紀のデザイン展」など長年に渡って数々のデザイン展に協力。デンマークの椅子デザインに関する様々な著書を発表し、そのキャリアの中で「デンマーク家具賞」、「第1回ハンス・J・ウェグナー賞」などを受賞しています。



「いい椅子は人に振る舞いを要求してくるっていうことですね」



「ハンス J. ウェグナーさんがデザインした椅子っていうのは座った瞬間、もうスイートスポットなんです。ウェグナーさんの人間性っていうのをその椅子に腰掛けた時、すごく感じます」

織田憲嗣氏の動画はこちらからご覧ください。

<https://www.carlhansen.com/ja-jp/jajp/designers/hans-j-wegner/wegner-110years/noritsugu-oda>



Videographer 畠山拓、Photo 大塚友記憲

A tribute to Hans J. Wegner 登壇者



ANNE-LOUISE SOMMER
Design Museum Danmark ディレクター



KEVIN KAFESU
カルチャー・マーケター



Benni Allan
デザインスタジオ Ebba Architects



Caroline Hoggarth
椅子張替職人



Andrew Duncanson
Gallery Modernity オーナー



Nanna Lagerman
インテリアデザイナー



Nicholas Shurey
彫刻家兼木製家具職人

The First Masterpieces

カール・ハンセン&サンは、ハンス J. ウェグナーのデザインを最も多く製品化しています。多数ある製品の中でも、カール・ハンセン&サンの哲学を基盤に、カール・ハンセン&サンのためにデザインした最初の5脚の椅子をご紹介します。1949年ウェグナーが当時のカール・ハンセン&サンの社長宅に3週間滞在し、開発した最初の椅子シリーズで、75年以上を経た現在もクラフトマンシップを讃える名作として多くの人に愛されています。



CH22

Lounge Chair

アームレストの形状、ペーパーコードを施した座面、そして印象的な成形合板製の背もたれ。随所にウェグナーデザインならではの特徴が見られる椅子。2016年復刻。



CH23

Chair

明快でオーガニックなライン、洗練された斬新なスタイル、クラフトマンシップ溢れるウェグナー初期の名作。2017年復刻。



CH24

Chair

Yチェアとして知られるCH24。ハンス J. ウェグナーがカール・ハンセン&サンのためにデザインし、1950年の発売以降も途絶えることなく生産が続く名作。



CH25

Chair

それまでになかった大胆で彫刻的なフォルムが、革新的なデザインと評価され、現在も人気を誇るラウンジチェア。1950年の発表以来、製造され続けている。



CH26

Chair

カール・ハンセン&サンのために1949年にデザインされた椅子。ウェグナーが遺した手書きのスケッチを基に忠実に再現し、2016年に復刻発売された。



Hans J. Wegner (ハンス J.ウェグナー) プロフィール (1914 - 2007)



数多くの名作を残し、20世紀を代表する才能あふれる家具デザイナーのひとり、ハンス J.ウェグナーはデンリッシュデザインの海外進出に大きな役割を果たしたほか、1950年、60年代には一般の人々がそれまで抱いていた家具へのイメージを一掃するような家具を次々と発表し、人々に大きな影響を与えました。椅子のデザインを追求し、500以上のデザインをしていることから、椅子の巨匠としても知られています。構造的にも意匠的にも完璧と言える接合部が、ウェグナーデザインの特徴となっていますが、これはウェグナーの素材への探究心と木材に対す深い造詣があるからこそ実現できたデザインと言えます。またミニマリストティックでオーガニックなフォルムもウェグナーデザインの大きな特徴となっています。

1914年、靴職人を父にデンマークとドイツの国境の町、トゥナーに生まれました。家具職人H.F. スタルベアグの元で家具を学び、17歳で家具職人の資格を取得。初めてデザインを経験したのもこの工房でした。20歳でコペンハーゲンに移り、1936年から1938年まで工芸スクールに在籍し、その後デザイナーとしての活動を開始しました。

1940年、ウェグナーはアルネ・ヤコブセンとエリック・ムラーが担当する、オーフス市（デンマーク第二の都市）市庁舎の建築プロジェクトに参加し、そこに納める家具をデザインしました。またデンリッシュデザイン界に大きな貢献を残した家具工房、ヨハネス・ハンセン社との共同作業もこの年に始まりました。

1943年自身のデザイン事務所を開設し、1944年中国の明朝時代の椅子に影響を受けたチャイナチェアシリーズの最初の作品となる椅子をデザインしました。このチャイナシリーズ最後の椅子となるのが1949年にデザインされたCH24（Yチェア）です。Yチェアは、カール・ハンセン&サン社で翌年の1950年から生産され、今日ウェグナーの最も成功をおさめた椅子となっています。

ルニング賞（1951年）、第8回国際デザイン賞（1997年）はじめ、デザイン界における各種の賞を数多く受賞しています。また、デンマーク王立芸術アカデミーの名誉会員（1995年）、英国王立美術大学からは名誉学士号（1997年）が贈られて、その作品はニューヨークのMOMAからミュンヘンのディ・ノイエ・ザムルングまで、世界中の著名な美術館でコレクションされています。2007年1月、92歳で他界しました。

プレスお問合せ先

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社 ブランド コミュニケーション マネージャー

阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp TEL : 080-3344-1489

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405